

えびの高原における ユニバーサルツーリズム



霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局 岩下 江里



えびの高原



テーマ

- ①ユニバーサルツーリズムとジオパーク
- ②えびの高原での研修会
- ③研修から見えた気づきと今後

①ユニバーサルツーリズムとジオパーク





ユニバーサルツーリズムとは

高齢や障がい等の有無にかかわらず
すべての人が安心して楽しめる旅行

(観光庁HPより)

【ユニバーサルツーリズム】生駒高原＆えびの高原の自然を楽しむ1泊2日



このコースは、車いすやベビーカー利用の方、障がいをお持ちの方などにおすすめのコースです。

生駒高原やえびの高原をのんびり散策したら、夜はえびの市内に泊まり、翌日は霧島酒造やコカ・コーラの工場見学も楽しめます。自然もグルメも大満喫の2日間です。

 所要時間：1泊2日

 交通手段：車

AIに質問する 



ジオパークでは

- ・地球遺産を守りながら活かす
- ・持続可能な地域を目指す



地球の遺産を保護しながら活用し、

「教育」「観光」「防災」などに取り組み

持続可能な地域社会を目指している



一部の人だけでなく、すべての人が
楽しめるという考え方も大切



ユニバーサルツーリズムに通じる考え方！

霧島ジオパーク・ユニバーサルデザインフォーラム

「誰もが楽しめる環境づくり」



車いすを使って
見どころを巡る様子を動画で発信



えびの高原へ訪問(R6.10.28)

- ・えびの高原周辺で、ユニバーサルツーリズムの実現性を検証
- ・車椅子を使用し、「現地確認」「意見交換」を実施



再度検証を行うことに!!

- WHILL(株)の協力のもと、事務局だけでなく、地域の方も巻き込んでユニバーサルツーリズムについて考えていく
→ 外部からの関心が、今回の研修会の大きなきっかけになった



②えびの高原での研修会



研修会の概要

日時:令和6年12月16日

場所:えびの高原



研修の参加者

全体参加者:28名

観光事業者・施設管理者・行政など

様々な関係者が参加



WHILL(近距離モビリティ)

- ・自分で簡単に操作できる
次世代型電動車いす
- ・小回りがきく
- ・景色を楽しみながら移動できる



JINRIKI(車椅子補助器具)

- ・介助者と協力して使う移動補助器具
- ・芝生や段差など不整地で力を発揮
- ・人の支援を前提とした安全な移動

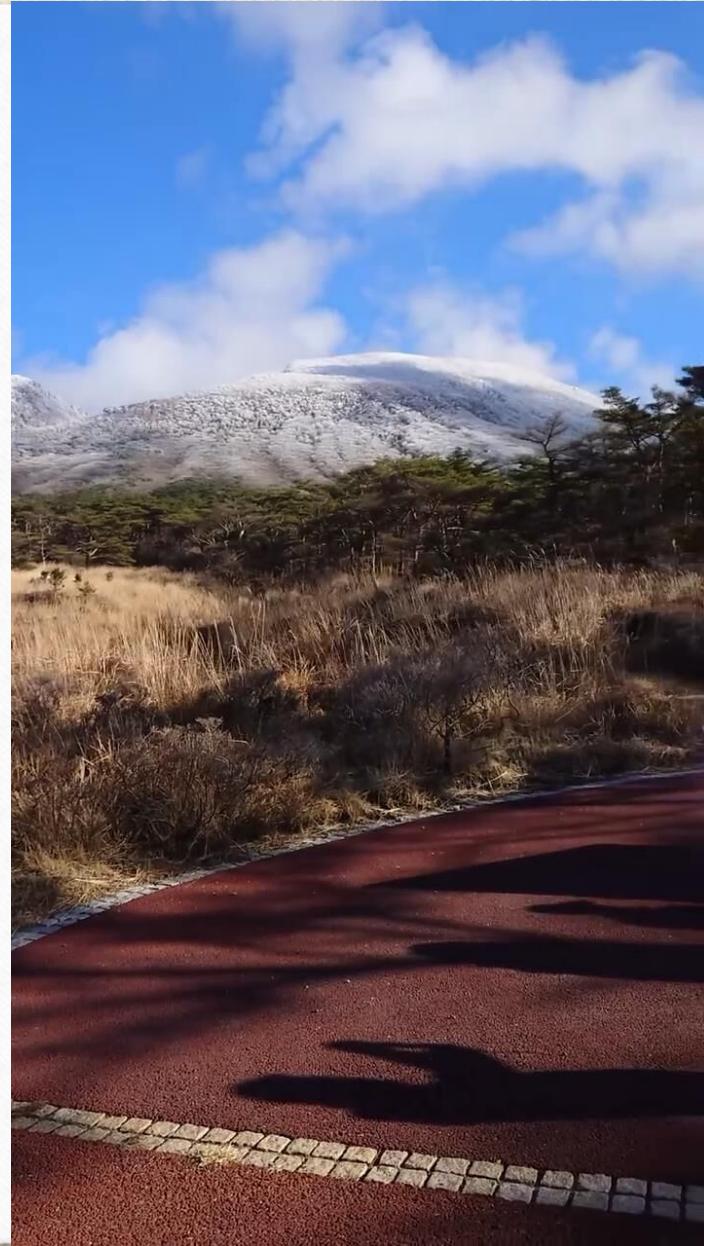


※現在は、製造・販売終了

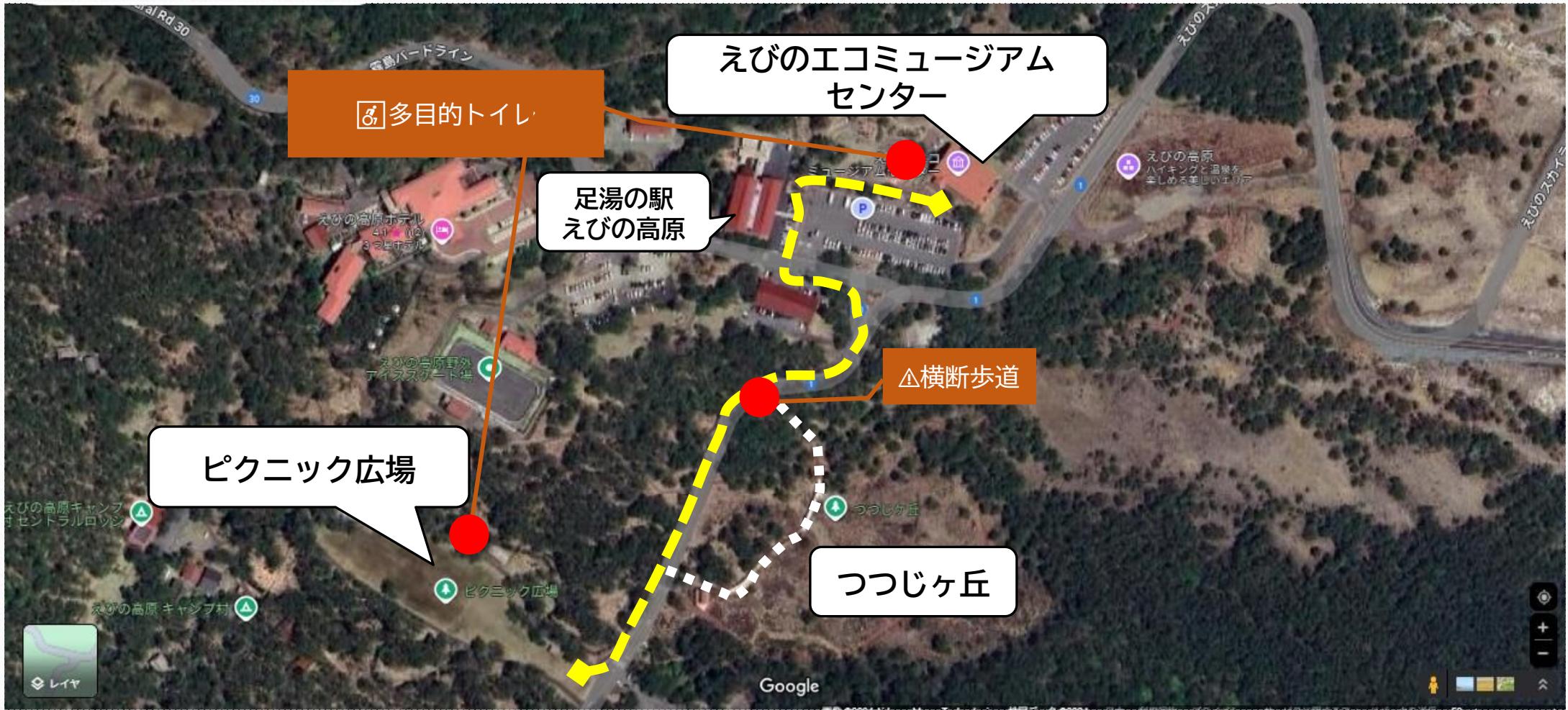
研修で行ったこと

- ・車椅子でも散策できるコースの検証
- ・車椅子の操作・試乗
- ・参加者同士の意見交換





試乗したコース(約1km)



研修で共有された気づき①

○車椅子でも十分に楽しめるコースがある



- ・駐車場や多目的トイレなど、ユニバーサルツーリズムに必要な環境が整っている
- ・実際に体験することで、自然や景観を楽しめる



研修で共有された気づき②

○立場によって見え方は大きく変わる

- ・歩行時には気づかなかった段差や勾配が、車椅子では大きな障壁になる
- ・「知っている場所」でも、新たな課題が見えてくる





研修を通しての課題

- ・リスク管理

事故時の責任の所在

- ・費用面

導入・維持にかかる費用負担

- ・安全面

見通しの悪い横断歩道や段差...



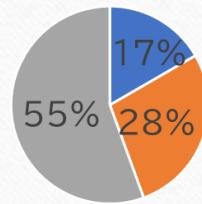
アンケート結果①

Q1.あなたが観光をする際、または観光客等を受け入れる際、「ユニバーサルツーリズム(ユニバーサルデザイン)」の概念を意識していますか？



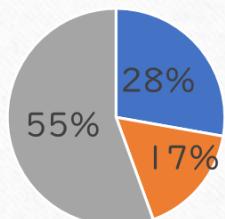
- 意識したことはなかった
- なんとなくは意識している
- 日頃から意識している

Q3.今回使用したような近距離モビリティ：次世代型電動車椅子(WHILL等)があることを知っていましたか？



- 知っていた
- メーカー(製品)も知っていた
- 知らなかった

Q2.車椅子補助器具(JINRIKI等)があることを知っていましたか？



- 知っていた
- メーカー(製品)も知っていた
- 知らなかった

Q4.今回の研修で車椅子補助器具や近距離モビリティ：次世代型電動車椅子に興味を持ちましたか？



- 興味を持った
- あまり持たなかった
- 持たなかった

アンケート結果②

Q6.その他意見・感想など

- ・バリアフリーの概念は広まっているものの、実際に車イスを利用している方の目線の周知がまだ進んでいないので、その認知が重要だと感じた。
- ・街中で行うツアーにはWHILLを使い、坂がある場所ではJINRIKIを活用するとよいと思った。
- ・障がいがあるとテーマパークで乗り物に乗ることができないと言われることがほとんどです。そういうときに、ジオパークに行けば何か体験できるよね！という場所になっていったらいいですね！

「重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム」へ導入

(2025年2月)



WHILL株式会社 公式サイト

なぎさミュージアムでの研修会



全国大会での共有事項

① 情報発信の重要性

特に障がいのある方は **事前情報** を重視
情報の更新も重要

② 第三者視点の活用

様々な立場の方の意見をもらうことで新たな発見



南紀熊野ジオパーク(和歌山県)



駐車場から近い事例（普段は気づかないショートコース）

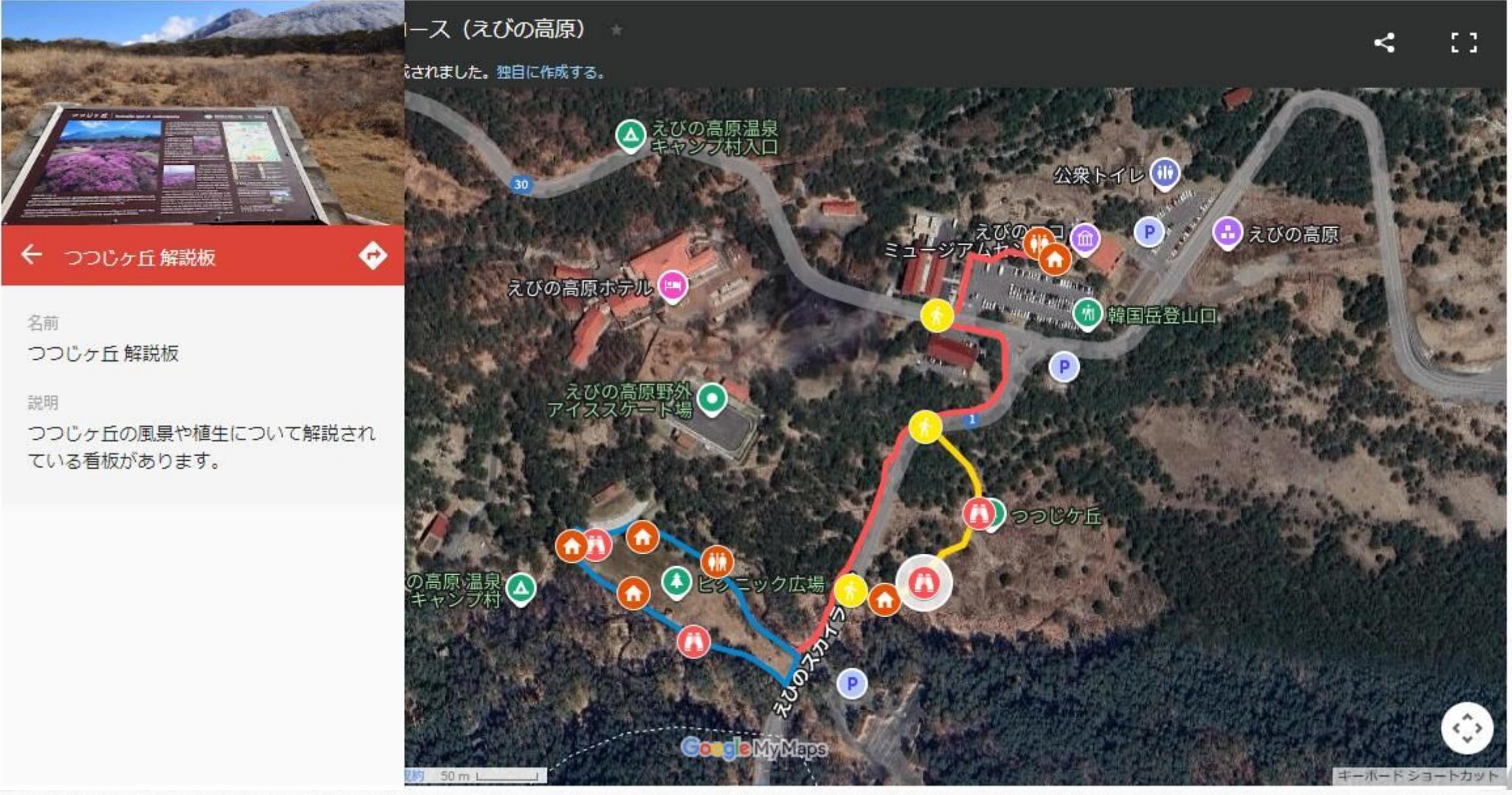
栗駒山麓ジオパーク(宮城県)



栗駒山麓ジオパークHPより

霧島ジオパークのHPにて情報発信





③研修から見えた気づきと今後



今回の取り組みを通して

- ・多様な関係者と協力して進めることの大切さ
- ・「誰もが楽しめる観光」は、すでにある環境を活かすことで、一步ずつ進められる



今後にもむけて

- 情報発信の継続 
- 地域の関係者と連携しながら新たなコースを検討 


ご清聴ありがとうございました



Facebook



HP